

Project to make use of multi function of rice paddies in Ohsaki city

水田の多面的機能を活かすための大崎市の取り組み

Ohsaki City
大崎市産業経済部
部長 Masahito MARUTA
丸田雅博



安藤広重 「月に雁」



1949年に切手の図柄にもなっているおなじみの作品。冴え冴えと輝く満月、静かに流れる蒼い雲、そして三羽の落雁。澄み渡った秋の空遠く、物悲しげな雁の声が聞こえてくるかのようです。

「こむな夜か 又も有うか 月に雁」

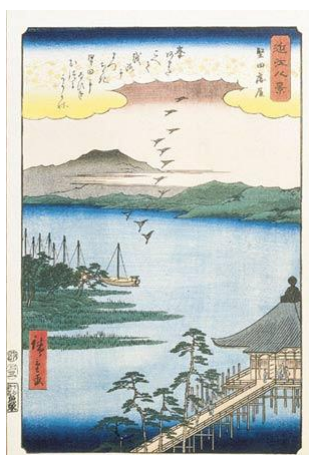
江戸近郊八景…羽根田



金沢八景 平瀨落雁



近江八景 - 堅田落雁



雁にまつわる食べ物



がんもどき



落月 (がんづき)



落雁 (らくがん)



蕪栗沼



マガンをはじめ約1500種の動植物が確認されています。



天然記念物のマガン



ミズアオイ

ラムサール条約湿地 蕪栗沼・周辺水田



- 周辺水田を広く含み、水田の名前が入った初めてのラムサール条約湿地
- 水田が生産の場としてだけでなく、生物の多様性を支える重要な場所として認識された

「ふゆみずたんぼの取り組み」

水田を「冬期湛水」することで、ねぐらを分散・拡大し、水質の改善と越冬環境を整備



渡り鳥との共生を育むふゆみずたんぼ



〔湿田にすむ生き物〕 = 生息環境の復元

- ・ 渡り鳥のねぐらや休息の場の創出
- ・ 微生物から水鳥まで生物多様性が高い

〔農業〕 = ふゆみずたんぼ農法

- ・ 抑草、除草効果
- ・ 施肥効果
- ・ 生物多様性を活用した栽培方法には付加価値がある

〔農業〕と〔自然〕の共存・共生

- ・ 生き物の力を活かした持続可能な循環型システム
- ・ 環境負荷の低減と湿地環境の保全

関連団体

NPO・NGO

- ・ **NPO法人蕪栗ぬまっこくらぶ** 設立：2000年
湿地の保全、調査、環境教育、バイオマス、ツーリズム
- ・ **NPO法人田んぼ** 設立：2006年
調査、農業支援、環境教育、食育、ツーリズム
- ・ **日本雁を保護する会** 設立：1970年 調査、情報発信

農家

- ・ **農家** 環境に配慮した農業の実践、湿地の保全

農業団体

- ・ **農協** 米の販売促進、産地消費者交流
- ・ **土地改良区** 農作業環境の整備

行政

- ・ **大崎市** 関係者連絡会議の実施・調整、事業委託

関連団体の役割

		農家	農協・ 改良区	NPO法人 蕪栗ぬ まっこ くらぶ	NPO法人 田んぼ	日本雁を 保護する 会	大崎市
資源	調査	○	○	◎	◎	◎	○
	保全	○		◎	○	○	○
	バイオマス			◎			○
経済	農業	◎	○	○	◎	○	○
	ツーリズム	◎		◎	○	○	○
普及・ 啓発	情報発信	○	○	◎	◎	◎	○
	環境教育			◎	◎	○	○
	関係者調整		○				◎



鳥と農業との共生



農家と雁が間近に暮らす風景



ふゆみずたんぼに飛来したマガン



ふゆみずたんぼに張られたクモの巣



ふゆみずたんぼの周りにはサギ



農家や子供たちによる田んぼの生きもの調査



毎日大崎のお米、おかずも地場産食材



宮城の「ササニシキ」から作られたお酒とお菓子

蕪栗沼・ふゆみずたんぼプロジェクト

～総務省「緑の分権改革」事業～

2011年度

- ・「ふゆみずたんぼ広め隊」（広報組織）
- ・アグリ・コミュニティビジネス研修（人材育成）
- ・ふゆみずたんぼによる被災水田の塩害抑制実験
- ・蕪栗沼の葦バイオマスエネルギー活用実験（自然エネルギー）
- ・映像・絵本及びwebの制作



2012年度（被災地復興モデル構築）

- ・ふゆみずたんぼをベースとした水田復興、生物多様性ツーリズムの実証
- ・ふゆみずたんぼ米を核とした漁業、農業の活性化「広域連携食ブランド」の構築



ふゆみずたんぼによる被災水田の復興



2010年



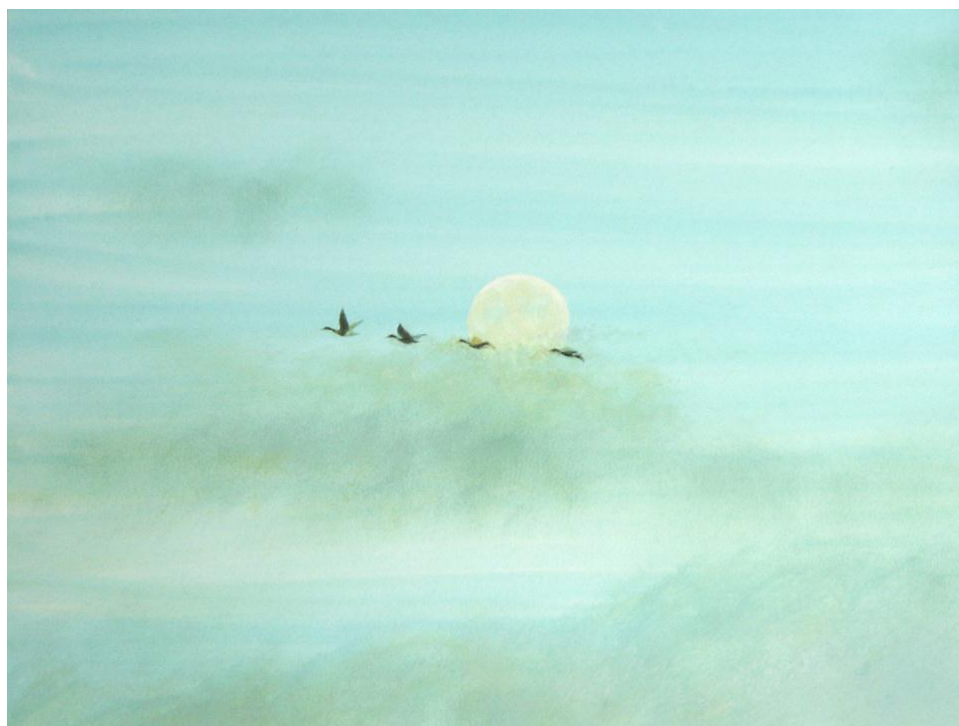
2010年



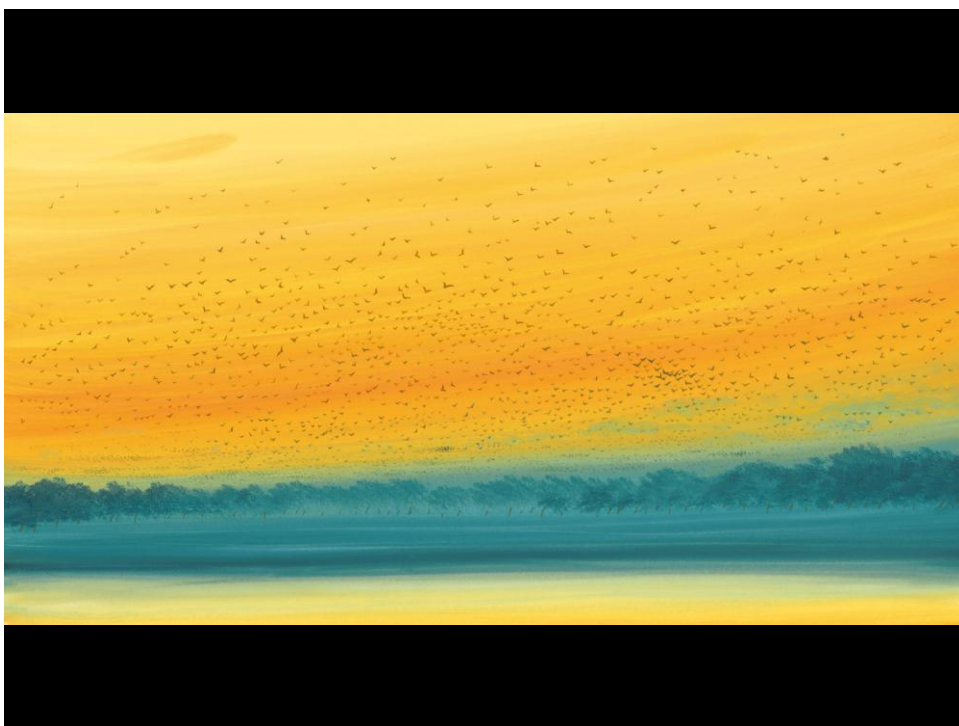
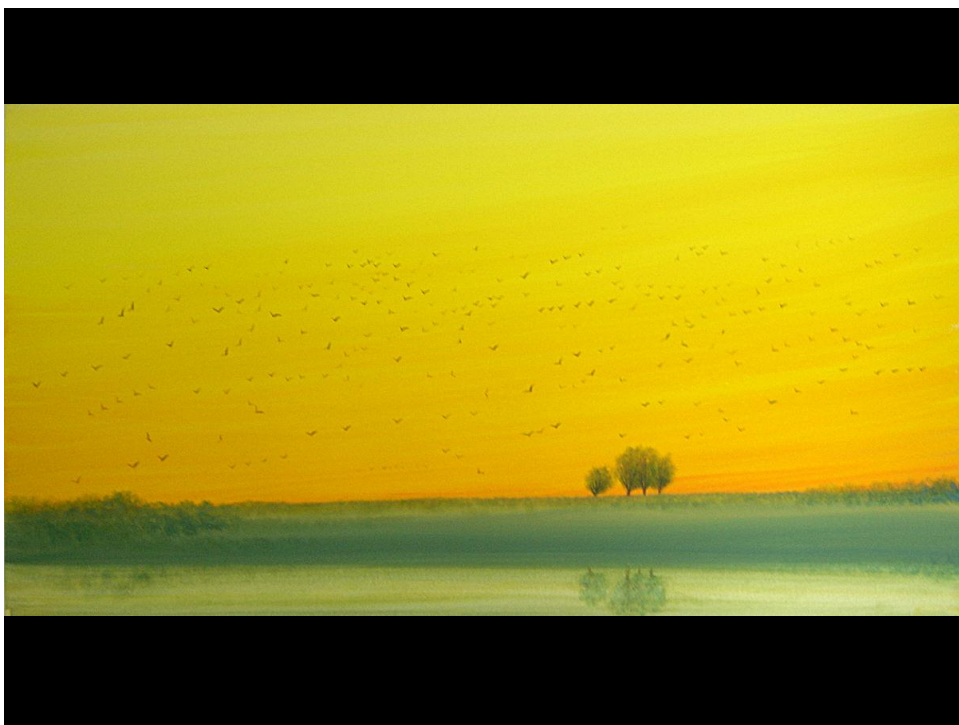
2011年4月28日（復元前）



2011年5月8日（復元後）











ふゆみずたんぼプロジェクト
TVCM15秒

2012.02.23